ソリューション概要

Win–Win：より強力なセキュリティ、より強力な関係

SonicWall Endpoint Securityで、MSPの皆様が収益性を高めながら顧客からの信頼を深める仕組み

すべてのMSPが同じジレンマに直面しています。顧客は年を追うごとにより強力なセキュリティを求めますが、そのために追加の費用を払ってくれるとは限りません。利益率は低下し、ツールスタックは複雑になり、そのすべてを運用し続けるための作業によって、皆様がビジネスを成長させるために費やせるはずの時間は削られています。そこでつい、最低限の要件を満たす最も安価なツールの組み合わせを選びたくなりますが、無料のウイルス対策と、別の低コストのエンドポイント検出/応答（EDR）をつぎはぎで組み合せても、それによって解消できる以上のコストとリスクを生み出すことになります。

SonicWall Endpoint Securityは、これとは異なるアプローチを採用しています。次世代アンチウイルス（NGAV）と高度なエンドポイント検出/応答（EDR）を単一の軽量なエージェントに統合しており、サービス提供先である中小企業向けの価格で大企業並みの保護を提供します。その結果、より簡単に運用でき、より低コストで提供でき、顧客にとってより価値の高いセキュリティサービスが実現し、皆様のビジネスと顧客との関係の両方にメリットをもたらします。

断片的なセキュリティによる収益性の問題

予算を重視するMSPは、多くの場合、利益率を確保するために無料のウイルス対策と低コストのEDRを組み合わせます。一見、効率的に思えるかもしれませんが、連携していない2つのシステムを運用すると、コンソールが2つになり、ポリシーも2つになり、更新頻度が2回になり、設定ミスを見過ごす可能性も2倍になります。こうした複雑さが、エンジニアの作業時間の増加や誤検出のトリアージを招き、回避できたはずのインシデントにつながります。

EDR市場は急速に成長しているのは、もはや、基本的なウイルス対策ではAIを利用したマルウェア、ファイルレス攻撃、ゼロデイ攻撃を食い止めることはできないからです。MSPにとっての問題は、信頼性の高いEDRを提供するために、コストと複雑さの増加を受け入れなければならないのか、という点です。SonicWall Endpoint Securityなら、その必要はありません。

SonicWall Endpoint SecurityがMSPの収益性を高める4つの方法

1 スタックの統合とコストの削減

NGAVとEDRは、1つの軽量なエージェントに統合され、1つのマルチテナントコンソールで管理できます。統合のための作業、重複するライセンス管理が不要になり、複数のツールの並行稼働による運用上の負担も解消されます。さらにランサムウェアのロールバック機能も利用でき、競合ソリューションと比較して最大40%のコスト削減が可能です。提供コストが下がるため、保護するエンドポイントごとの利益率が上がります。

2 収益源の拡大

高度なEDR、ライブおよび履歴による脅威ハンティング、詳細なレポート作成を、サービスとしてパッケージ化して価格設定できます。これらは皆様がコストを負担するだけの機能ではありません。各機能は、通常ならはるかに高価なエンタープライズプラットフォーム向けのものです。それを活用することで、顧客をより上位のサービスティアへ移行させ、毎月の継続的な収益を拡大する機会になります。

3 人員数を増やさずに規模を拡大

マルチテナント管理、きめ細かなポリシー制御、主要なPSA、RMM、SIEMツールとのシームレスな統合により、小規模のチームが単一プラットフォームから多くの顧客をサポートできるようになります。人件費を同じペースで増やすことなく、顧客基盤を拡大することができます。

4 月額請求のフルマネージドティアを提供

サイバー脅威に休みはなく、したがってエンドポイントのアラートも昼夜を問わず発生します。24時間体制の監視を必要とする企業は、これまでになく増えています。SonicSentry SonicWall Endpoint Security向けMDRは、24時間体制のセキュリティオペレーションセンター（SOC）、プロアクティブな脅威ハンティング、専門家による対応というSOCのすべてのメリットを独自に構築する必要なく追加するものです。このサービスは月額請求であり、契約や最低利用期間はありません。そのため、小規模から開始して、需要に応じて規模を拡大または縮小することができます。インフラストラクチャや人員への大規模な投資を伴わずに提供できる、高付加価値で大企業並みのサービスです。

SONICWALL

より強力なセキュリティがより強力な関係を構築

収益性と顧客からの信頼はトレードオフの関係ではありません。同じプラットフォームで、その両方を実現できます。ツールがよりシンプルで信頼性が高ければ、顧客にとってはインシデントが減り、応答がより迅速になり、対価を払っている保護の内容もレポートで分かりやすく確認できるようになります。

- 想定外の事態の軽減：
  ランサムウェアのロールバック機能は、不正に暗号化されたファイルをVSSシャドウコピーから復元します。同時に、デバイスの隔離機能で脅威が広がる前に封じ込めるため、攻撃からの被害を最小限に抑えられます。
- 値の可視化：
  ライブおよび履歴による脅威ハンティングと統合レポートにより、顧客のセキュリティコストがどのようなものに費やされているのかを顧客に具体的に示すことができます。
- いつでも安心：
  SonicSentry MDRの一部であるオプションの24時間体制のSOCを利用すれば、皆様が眠っている間も、専門家が脅威を監視して被害を軽減します。皆様も皆様の顧客も安心です。
- 誰もが知るブランド：
  SonicWall Endpoint Securityはサイバーセキュリティに関する30年以上の研究成果を基礎としており、自社開発されたものです。そのため、皆様の提案に、他社には簡単に真似できない信頼性が生まれます。

MSPの業務スタイルに合わせて開発

SonicWall Endpoint Securityは、特許取得済みのReal-Time Deep Memory Inspection（RTDMI™）技術と、脅威を実行前と実行後に阻止する、マルチエンジンで動作ベースの検出を組み合わせたものです。詳細なテレメトリにより、過去データの脅威ハンティングが可能になり、チームがすでに熟知している使い慣れたSonicWall統合管理のコンソールから、すべてを管理できます。スタンドアロンEDRとして展開するか、フルマネージドMDR上のレイヤーとして展開するかを問わず、このプラットフォームは既存のワークフローに適合するように設計されており、ワークフローを構築し直す必要はありません。

利益率を高め、関係を強化する準備はできましたか？

SonicWall Endpoint Securityが皆様のスタックをシンプル化し、新たな収益機会を開拓し、顧客からの信頼を強化できる仕組みを確認しましょう。実際の動作をご覧になりたい方は、今すぐSonicWallの担当者にお問い合わせください。

SonicWall Inc.
1033 McCarthy Boulevard | Milpitas, CA 95035 | 詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。

© 2026 SonicWall Inc. ALL RIGHTS RESERVED.
SonicWallは、SonicWall Inc.またはその関連会社の米国および他国における商標または登録商標です。その他すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。本文書の情報は、SonicWall Inc.および/または関連会社の製品に関連して提供されています。本文書またはSonicWall製品の販売に関連しては、明示されているか否かにかかわらず、また禁反言によるとよらずにかかわらず、いかなる知的所有権のライセンスも許諾するものではありません。本製品の使用許諾契約書の定める契約条件で規定されている場合を除き、SonicWallおよび/またはその関連会社はいかなる責任を負うものではなく、また、製品に関するいかなる明示的、黙示的、もしくは法定上の保証（商品性、特定目的への適合性、非侵害性に関する黙示的な保証を含むが、これに限定されない）についても一切の責任を負わないものとします。SonicWallおよび/またはその提携会社は、本文書の使用または不使用に起因して発生した、いかなる直接的、間接的、派生的、懲罰的、特殊、または偶発的な損害（利益の損失、営業停止、情報消失を含む）について一切責任を負いません。また、SonicWallおよび/またはその提携会社がかかる損害の可能性について知らされていた場合でも同様とします。SonicWallおよび/またはその関連会社は、本文書の内容の正確性や完全性に関して、いかなる表明や保証も行わず、また予告なしにいつでも仕様および製品の説明を変更する権利を留保します。SonicWall Inc.および/またはその関連会社は、本文書に記載されている情報の更新について一切責任を負わないものとします。

Endpoint Security_MSP Profitability_SolutionBrief_12551

sonicwall.com

SONICWALL®